

日本高血圧学会認定 高血圧専門医制度  
高血圧専門医**本申請書類**

**作成の手引き**  
(受験者分類 旧A, 新A 用)

－ 書類の種類と書式との対応 －

**甲書類**

- ①専門医申請書……………甲セット P. 1
- ②履歴書……………甲セット P. 2
- ③医師免許証のコピー
- ④-1 内科学会認定内科医証のコピー
- ④-2 専門医機構内科専門医認定証のコピー
- ⑤高血圧学会認定研修施設研修修了証明書…甲セット P. 3
- ⑥研修達成度評価表……………甲セット P. 4-8
- ⑦高血圧指導医の推薦書……………甲セット P. 9
- ⑫日本高血圧学会総会出席記録……………甲セット P. 10
- ⑬家庭血圧測定推進誓約書……………甲セット P. 11
- ⑭禁煙誓約書……………甲セット P. 12
- ⑮写真票……………甲セット P. 13
- ⑮審査料（20,000 円）の振込票等のコピー
- ⑲宛名記載済の旧官製はがき（額面 85 円のもの）

**乙書類**

- ⑧受持ち患者症例一覧表……………乙セット P. 1-3
- ⑩研究業績目録……………乙セット P. 4
- ⑪講演参加レポート……………乙セット P. 5 または単独書式

【ご注意】本「作成の手引き」は以下の受験者分類の方（事前申請不要の方）用です。

### 受験者分類の略称について

※以下の受験者分類の略称は、[https://www.jpnsn.jp/specialties\\_n1.html](https://www.jpnsn.jp/specialties_n1.html) にある保有内科医資格別の概略説明資料の

図1「受験者の分類」に従うものです。

保有内科医資格 （概要説明資料 タイトル）	受験者の 分類 （図1）	略称	研修期間などの条件	事前申請 の要否
① 内科学会認定 内科医 （旧制度） の場合	A)	旧 A)	高血圧学会認定施設で3年以上 高血圧指導医の指導下で研修カリキュラム達成	不要
② 専門医機構認定 内科専門医 （新制度） の場合	A)	新 A)	高血圧学会認定施設で3年以上 高血圧指導医の指導下で研修カリキュラム達成	不要

# 甲書類

## ①専門医申請書

- 写真は⑮写真票と同一の写真を貼ってください。サイズは従来の書式のものと異なります。
- 写真は画像データをワードの書式に挿入するのではなく、印刷後の書式に鮮明な証明用写真を貼付してください。写真に関するその他の注意事項は「写真票」左側の記載に従ってください。
- 「申請者氏名」は印刷後の書式に自署のうえ、「印」と記載されている箇所に忘れずに押印してください。
- 「会員番号」は当学会からのメールや会費請求書に記載がございます。
- 「入会年月日」は会員専用サイト：<https://www.jpnsnsh.jp/member/login.php> にログイン後、右端メニュー上位の「〇〇様のページ」をクリックしてご確認ください。会員専用サイトログイン時のIDは会員番号。パスワードをお忘れの場合、誕生日、メールアドレス等をご入力いただければ再設定可能です。
- 「受験者分類」は前頁の「受験者分類の略称について」をご参照ください。

## ②履歴書

- 氏名のあとの「印」と記載されている箇所に印刷後忘れずに押印してください。
- 学歴、職歴欄には内科学会認定内科医取得日または専門医機構内科専門医研修開始日、取得日を必ずご記入ください。
- 記載例は削除してください。

## ③医師免許証のコピー

- A4 サイズに縮小した白黒コピーを提出してください。

### ④-1 内科学会認定内科医証のコピー

または

### ④-2 専門医機構内科専門医認定証のコピー

- A4 サイズに縮小した白黒コピーを提出してください。
- 申請時に認定期間が有効なものを提出してください。
- 内科学会認定内科医証の有効期限内のものがない場合は、総合内科専門医証コピーによる代用を認めますが、期限切れの認定内科医証コピーも同時に提出してください（認定内科医取得日の確認が必要なため）。

## ⑤ 高血圧学会認定研修施設研修修了証明書

- (1)～(3)の施設毎に高血圧指導医のもと高血圧専門医研修を受けた在籍期間（ただし内科学会認定内科医取得日以降または専門医機構認定内科専門医研修開始日以降）をそれぞれ西暦で記載ください。合計で3年以上となる必要があります。
- 印は施設印、または施設長名に記載した先生の認め印でも可。
- この用紙に研修施設独自の証明書を添付されても結構ですが、在籍年数は必須とします。
- 妊娠・出産・育児・傷病・介護などによる休職者は、研修期間中（3年間の研修につき）最大6か月（分割取得可）の休職期間を研修期間として許容します。その場合は、上記研修期間の下に  
内休職期間      年      月      日～      年      月      日（      ヶ月）  
と明示するとともに、上記理由を証明する書類を添付してください。

## ⑥研修達成度評価表

### 高血圧専門医研修カリキュラム達成評価について

高血圧専門医研修カリキュラムは、日本高血圧学会認定高血圧専門医になるための研修内容の一つであり、そのための到達目標である。

【到達目標レベル】本カリキュラムでは、研修到達目標のレベルをアルファベットの記号で記している。その分類を以下に示す。

	知識・能力	診察	検査	治療	疾患	教育
A	十分な知識・能力がある	十分な知識・能力があり、一人で実施できる	オーダーの経験があり、結果を単独で判定できる	十分に経験し、単独で実施できる	担当医として経験する*	十分な知識・能力がある
B	概略の知識を有する		判定に関する知識を十分に有する	経験があり単独で実施できる	見学・研修で症例を経験する	概略の知識を有する
C				十分な知識を有する	十分な知識を有する	

\*担当医として疾患を疑い、専門医に紹介した経験を含む

具体的な目標達成の判定基準・経験すべき症例数は、研修カリキュラム

[https://www.jpnsh.jp/data/specialties/curriculum\\_n.pdf](https://www.jpnsh.jp/data/specialties/curriculum_n.pdf)

の各項目を参照されたい。

【専門医試験受験資格】研修項目全てが必修であり、専門医試験受験には計 165 単位取得が必要である。

- 高血圧専門医研修カリキュラムおよび以上に沿って、研修達成度評価表の自己評価、指導医評価を指定欄に記入すること。
- 本人および高血圧指導医は氏名を自署のうえ、「印」と記載されている箇所に忘れずに押印してください。

## ⑦高血圧指導医の推薦書

- 推薦者（高血圧指導医）は氏名を自署のうえ、「印」と記載されている箇所に忘れずに押印してください。

## ⑫日本高血圧学会総会出席記録

- 申請時過去 5 年間以内の参加証コピーを貼付してください。

## ⑬家庭血圧測定推進誓約書

- 氏名を自署のうえ、「印」と記載されている箇所に押印してください。

## ⑭禁煙誓約書

- 氏名を自署のうえ、「印」と記載されている箇所に押印してください。

## ⑮写真票

- 写真は「専門医申請書」と「写真票」の二か所に貼付枠があります。どちらにも同一の写真を貼ってください。サイズは従来の書式のものとは異なります。
- 写真は画像データをワードの書式に挿入するのではなく、印刷後の書式に鮮明な証明用写真を貼付してください。特に「写真票」の写真は本人確認に用いますので、左側の注意事項に従ったものをご用意ください。

## ⑯審査料（20,000 円）の振込票等のコピー

- 郵便局へ行って振り込んだ場合は、備え付け振込用紙の受領書のコピー。その他の金融機関（ネットバンキング等）からオンライン振込の場合は会員番号、振込者名、日時、金額のわかる画面のスクリーンショット等。

## ⑰宛名記載済の旧官製はがき（額面 85 円のもの）

- 裏面を「受験番号通知書」として使用します。表面に必ず送付先住所、受取人（受験者）氏名を前もって記入しておくこと。

## 乙書類

### ⑧受持ち患者症例一覧表

- 詳細は「高血圧学会認定専門医申請時の診療実績」および Q&A をご参照ください。

[https://www.jpnsnsh.jp/data/specialties/experience\\_n.pdf](https://www.jpnsnsh.jp/data/specialties/experience_n.pdf)

<https://www.jpnsnsh.jp/data/specialties/qa.pdf>

- 下記 20 症例の実績を症例の種類毎に指定された欄にご記入ください。
- 二次性高血圧には、原因となった疾患名を診断名に記載のこと。

#### ◆本態性高血圧症例 10 症例

糖尿病合併	1 症例必須	二次性高血圧に登録の症例を除く
脂質異常症合併	1 症例必須	
脳血管障害合併	1 症例必須	
虚血性心疾患合併	1 症例必須	
心不全合併	1 症例必須	
腎障害合併	1 症例必須	二次性高血圧に登録の症例を除く
その他合併症	4 症例	高尿酸血症、心肥大、大動脈瘤、慢性閉塞性動脈硬化症などのいずれかの合併症を有している症例

#### ◆二次性高血圧症例 8 症例

腎性高血圧 糖尿病性腎症 1 症例必須 慢性糸球体腎炎 多発性嚢胞腎など	2 症例以上（糖尿病性腎症を含む）
内分泌性高血圧 原発性アルドステロン症 褐色細胞腫 クッシング症候群など	1 症例以上
腎血管性高血圧 線維筋性異形成 粥状動脈硬化 大動脈炎症候群など 脳・中枢神経性高血圧 脳血管障害急性期など 心・血管性高血圧 大動脈縮窄症 大動脈炎症候群 大動脈弁逆流など	2 症例以上（腎血管性高血圧、脳・中枢神経高血圧、心・血管性高血圧のうち 2 以上のカテゴリーから）

薬剤誘発性高血圧 非ステロイド系抗炎症薬 糖質コルチコイド 甘草など	1 症例以上
その他 OSA（閉塞性睡眠時無呼吸症候群）など	選択は任意

◆高血圧緊急症（切迫症）またはⅢ度高血圧 1 症例

高血圧緊急症（切迫症） またはⅢ度高血圧	1 症例
-------------------------	------

◆低血圧・起立性調節障害 1 症例

低血圧・起立性調節障害 起立性低血圧 食後低血圧 神経調節性失神など	1 症例
---	------

※書き方は、次ページの 記入例 を参照してください。



## 記入例

### 高血圧専門医認定試験 受け持ち患者（入院または外来）一覧表（2）

ふりがな		会員番号
氏名		

症例 No.9	その他 合併症	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	11111111	
		診断名	#1	本態性高血	#2	末期腎不全	
			#3	心肥大	#4	下肢閉塞性動脈硬化症	
症例 No.10	その他 合併症	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	22222222	
		診断名	#1	本態性高血	#2	末期腎不全	
			#3	2 型糖尿病	#4	高尿酸血症	

#### ◆二次性高血圧症例 8 症例

症例 No.11	糖尿病 性腎症	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	33333333	
		診断名	#1	腎性高血圧	#2	糖尿病性腎症	
			#3	末期腎不全	#4	うつ病	
症例 No.12	その他 腎性高 血圧	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	44444444	
		診断名	#1	腎性高血圧	#2	多発性嚢胞腎	
			#3	右腎嚢胞感染	#4		
症例 No.13	内分泌 性高血 圧	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	55555555	
		診断名	#1	内分泌性高血	#2	原発性アルドステロン症	
			#3	2 型糖尿病	#4	慢性腎臓病	
症例 No.14	注 1	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	66666666	
		診断名	#1	脳中枢神経性高血圧	#2	左視床出血	
			#3	末期腎不全	#4	2 型糖尿病	
症例 No.15	注 1	施設名	〇〇大学病院		診療科名	〇〇科	
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31		患者 ID	77777777	
		診断名	#1	心・血管性高血	#2	強皮症腎クリーゼ	
			#3	うっ血性心不全	#4	末期腎不全	

注 1：腎血管性高血圧、脳・中枢神経高血圧、心・血管性高血圧のどれか（No.14 と No.15 は別のカテゴリー）

## ⑩研究業績目録

- 申請時過去 5 年以内（留学期間は除く）の
  - 1) 高血圧学会総会における発表
  - 2) 高血圧に関する症例報告を含む論文
  - 3) 高血圧学会総会または高血圧フォーラムのシンポジウム、教育講演、症例検討セッションの講演参加レポートの中から、いずれか計 2 件を記載してください。その組み合わせは問いません。
- 1)のみで 2 件の場合「うち 1 件は筆頭演者」、2)のみ 2 件の場合「うち 1 件は筆頭著者」、1)と 2)各 1 件の場合「うち 1 件は筆頭演者または筆頭著者」でなければなりません。1)または 2) 1 件と 3) 1 件の組み合わせの場合は、1)または 2)は「筆頭演者または筆頭著者」でなくてもかまいません。
- 高血圧学会総会発表の場合、開催回、開催年、演題名、演者氏名（全員、本人には下線）を記入する。
- 論文発表の場合、論文名、著者名（全員、本人には下線）、掲載誌、巻、ページ、発行年を記入する。タイトル名からだけでは高血圧に関する研究であるか明確でない場合は、抄録や論文のコピーを同時に提出してください。
- 講演参加レポートの場合、学術集会名、セッションのタイトルを記入する。併せて「本申請書類⑪」によるレポート本文を提出してください。また、現地参加の場合は参加証明書コピーを添付してください（本申請書類⑫と兼用可）。

## ⑪講演参加レポート

- 高血圧フォーラム 2026、第 47 回高血圧学会総会にて開催された対象セッションの「課題テーマ」は以下を参照ください。

[https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme\\_forum2025.pdf](https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme_forum2025.pdf)

[https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme\\_soukai2025.pdf](https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme_soukai2025.pdf)

- 各レポートは 800 字程度にまとめてください。
- 査読した後、業績に値するか判断します。不完全な場合には修正を求めることがあります。